

令和6年度 北海道東川高等学校自己評価及び学校関係者評価

- 1 学校教育目標
 ○ 他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成
 ○ 自ら目標を定め、その達成に向けて主体的に努力する人材の育成
 ○ 互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成
- 2 育成を目指す資質・能力
 学ぶ意欲と東川 *mind* の育成
 ○ 東川 *mind*

{	福祉 <i>mind</i>	(受容力、共感力、至誠) の育成
	<i>Glocal mind</i>	(社会性、協働性、コミュニケーション力) の育成
	<i>Challenge mind</i>	(主体性、行動力、創造力) の育成
- 3 重点目標
 ① 学習や特別活動等に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切にし、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。
 ② 社会性を身につけ、自律的に行動し、他者を思いやることのできる生徒を育成する。
 ③ 様々な人と関わり、自己の在り方や生き方について深く考え、社会で生き生きと活躍できる生徒を育成する。

4 評価結果

学校運営協議会
委員による評価

分野 領域	評価項目	自己 評価	改善の方策	自己評価と改善方策 の適切さ
教育 目標	1 本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の方々の願いを踏まえたものとなっていますか。	B	生徒や保護者、また学校関係者の声に耳を傾ける機会を維持し、改善すべき点を継続的に検証する。	A
	2 教育目標の具現化や「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせることを意識して、日常的教育活動を行っていますか。	B	地域の特色等を生かした教育課程を再編・実施し、各教育活動と「育成を目指す資質・能力」との関連性を高める。	A
学習 指導	3 生徒が意欲的に学ぶことができるよう、分かりやすい授業を行い、指導方法や指導形態等の工夫改善に努めていますか。	B	授業評価を生かしながら、指導力向上に向けた校内研修（ICT活用を含む）を充実する。	A
	4 基礎学力の定着及び学力向上に向けた取組を行っていますか。	B	授業や朝学習におけるスタディサプリの活用をさらに進め、家庭学習を習慣化させる。また、外部機関（企業・公設塾）との連携を促進する。	A
	5 「総合的な探究の時間」の計画をすすめることができましたか。	B	育成を目指す資質能力と関連付けを明確にし、より効果的な内容となるよう外部機関と連携しながら計画・実施する。	A
生徒 指導	6 生徒に法令や生徒心得を遵守する姿勢が育ち、基本的生活習慣が確立され、主体的に行動ができるような指導を行っていますか。	B	学習活動や進路指導など全ての教育活動でどのように社会性を向上させるのか具体的目標を立て実践する。	A
	7 他を思いやり、尊重する意識を高めるような指導を行うとともに、いじめの未然防止に取り組んでいますか。	B	いじめの未然防止や望ましいコミュニケーションの在り方等について、生徒主体の取組を充実する。	A
	8 生徒同士の協働を推進し、行事の活性化を図ることができましたか。	B	委員会活動の更なる活性化と、生徒個々の「主体性の育成」を前提に、校内外の研修を利用するなどして、リーダーの育成に注力する。	A
進路 指導	9 望ましい勤労観や職業観を身に付けるための指導を進めていますか。	B	予測困難な時代を見据え、「東川学」やインターンシップ等、校内外の様々な人から学ぶ機会を充実する。	A
	10 進路希望に関する情報や資料提供等を適切に行い、生徒の適性や希望を生かすことのできる進路指導体制ができていますか。	A	進路便りを充実させ、自己理解を深める活動や生徒の特性に応じた指導・支援の改善を図る。	A
健康 安全	11 健康指導・交通安全や美化活動などの生活安全に関する指導が適切に行われていますか。	A	交通安全教室等や1日防災学校を引き続き現実に即した内容となるよう取り組む。	A
	12 個人面談や教育相談体制の充実など、生徒一人ひとりを大切にする組織体制ができていますか。	B	教育相談・サポート委員会における役割分担を明確にすることにより、支援の充実及び組織体制の強化を図る。	A
信頼 学校 づくり	13 保護者や地域と連携・協力した教育活動が進められていますか。	B	公開授業や学校行事等を保護者や地域への周知方法等について、より一層の工夫に努める。	A
	14 保護者・地域に積極的に情報提供するなど、開かれた学校づくりを意識し、推進していますか。	B	本校の広報活動について、SNSを用いた方法など、工夫改善を図る。	A
その他	15 業務を組織的に行うとともに、効率化に努めるなど、時間外勤務縮減に向けた取組はできていますか。	B	引き続き、業務の平準化を念頭にした校務分掌の構成・運営に努める。	A